

太陽系外に惑星は

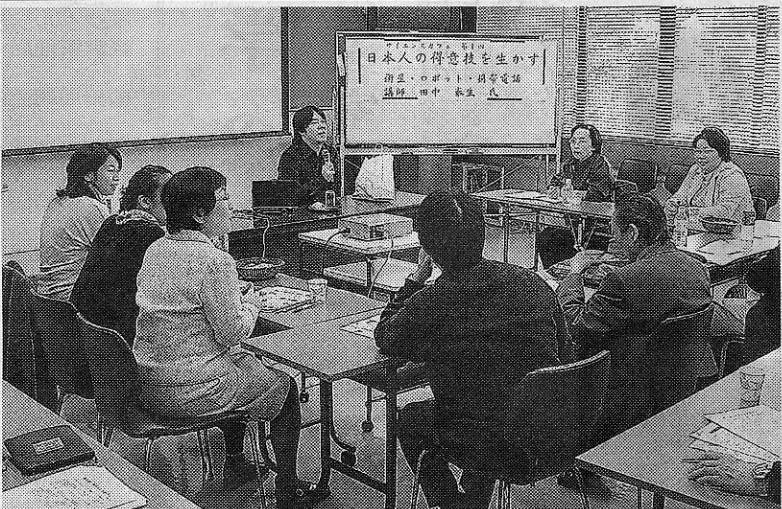
立館 県立 図書館 カフェで科学身近に
きよ 川崎 図書館

先端科学の若手研究者とひびを交え、科学をより身近に感じてもらう「サイエンスカフェ」の試みが、川崎市川崎区の県立川崎図書館（川崎駅東口下車、徒歩約十五分）で進められている。十六日には「太陽系外に惑星を探せ！」と題し今年最後のカフェを開催予定で、参加者を募集している。

サイエンスカフェは飲み物を片手に気軽な対話を一と一九八八年に英国で始まり、欧米を中心に

広まった。同図書館では「理科離れ」対策の一環として今秋から始め、これまで「衛星・ロボット・携帯電話」「ナノテク」「脳の高次機能に迫る」などをテーマに四回実施。中高生や大学生など延べ約八十人が参加し、「みんなの顔を見ながら話ができ楽しかった」などの感想があったという。県内ではほかに横浜国立大学（横浜市保土ヶ

谷区）でも行われている。十六日は天文学を専攻する東大大学院生の藤原英明さんが、太陽系外の惑星を探す方法や、最新の研究を紹介し「地球以外に生命は存在するか」の問いに答えていくという。午後一時半から四時までで、受講料は千円。当日申し込みも可能で、同図書館☎044（233）4537まで。



若手科学者とひびを交えて学べる「サイエンスカフェ」
川崎 県立川崎図書館